

# 静岡知事川勝氏再選

## 浜岡県民投票に弾み

### 自民系破る 参院選に影響も

任期満了に伴う静岡県知事選が16日投票され、中部電力浜岡原発(同県御前崎市)の再稼働の是非について、県民投票で判断する方針を掲げた無所属現職の川勝平太氏(64)が、自民が支持する新人候補ら2人を破り再選した。中部電は東海地震など南海トラフを震源とする巨大地震に備え安全対策を2015年春までに終える方針だが、再稼働には今後、県民投票という高いハードルが立ちはたかる。当日有権者数は30万6955人、投票率は49・49%(前回61・06%)。(25面、社会面に関連記事)

川勝氏は県民投票の実施時期を明らかにしていないが、実現すれば米軍基地の整理・縮小と日米地位協定見直しの賛否を問う沖縄県民投票(1996年)以来で、原発再稼働の是非を問うのは全国初。

浜岡原発は東日本大震災後の11年5月以降、政府要

請で停止している。選挙戦で川勝氏は再稼働の前提として①徹底的な安全性の検証②使用済み核燃料の処理方法確立③県民投票の実施——を挙げた。前回は民主などの推薦を受けたが、今回は「脱政党」で臨み、一部経済界など自民支持層も取り込み優位に選挙戦を展開。民主と連合静岡が水面下で組織票を固めた。再選を決めた川勝氏は再稼働について「最終的にどうするかは主権者である住民に聞くべきだ」と約束した。

